

# 千葉県社保協通信

2022年度 No.4 2022年 9月 24日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール [syaho2022@themis.ocn.ne.jp](mailto:syaho2022@themis.ocn.ne.jp)

## 第49回中央社会保障学校 From 千葉

**活かせ!! 憲法9条・25条  
軍拡ストップ 社会保障の充実めざし  
学習を力に 地域からの運動を広げよう**

17・18日の2日間、第49回中央社保学校が千葉市内会場と全国をオンラインで結び開催され、のべ852人(県内310人)が参加しました。

中央社保協安達克郎代表委員は、軍拡に突き進む岸田政権を批判。憲法改悪を許さず9条・25条一体でたたかおうとよびかけ、鈴木徳男現地実行委員長のあいさつ(録画)で開校しました。



宮崎礼二明海大学准教授が「安全保障と国民生活」をテーマに講演。

軍備拡大を批判。軍事最優先は国民の命・安全・財産を犠牲にするものと指摘。改憲か護憲か、軍備増強の新自由主義国家か社会保障費増の福祉国家かの選択が迫られていると強調しました。

特別報告「コロナ禍で浮き彫りとなった矛盾」では、宮原重佳氏(医師・千葉民医連会長)、栗原知亜紀氏(埼玉/看護師・ケアマネジャー)、永戸有子氏・井上淳美氏(京都市職労)



18日午後のシンポジウム開始前。スクリーンでは昼休み企画「安房文化遺産フォーラムの取り組み」放映中。

の各氏が医療、介護、公衆衛生の現場からの告発。いま必要なのは国民の安全・安心のため保健所や医療機関・介護施設の体制を強めることであり、行政の責任放棄ではないとあらためて訴えました。

2日目の井口克郎神戸大学准教授の「社会保障入門講座」。人権としての社会保障運動の前進のためには資本主義の理解が不可欠と指摘。憲法25条2項にふれ、未だかつてない運動の重要性を強調しました。

シンポジウム「届けよう現場・地域の声、広げよう運動を」では、長友薫輝佛教大学准教授がコーディネーターを務め、東松戸病院・梨香苑存続運動、柏市での「個人請願」運動、東葛地域での「労働・生活・健康なんでも相談会」の取り組み、「天海訴訟を支援する会」の活動を交流しました。

林信悟中央社保協事務局長が①75歳以上医療費負担2割化中止②介護保険制度大改悪阻止③学習を力に地域社保協づくりを提起。司会は福井貴志さん(土建千葉支部)と阿部礼子さん(県民医連)が務めました。来年は岡山で開催です。※裏面に感想文を掲載

## 75歳以上窓口負担 "2倍化やめて" **あびこ社保協**

「年金が減らされ続ける中で、10月から医療費窓口負担2倍にするなんて!」とんでもない政治に怒りはつのるばかり。あびこ社保協役員会は、宣伝活動をよびかけ、10日16時から我孫子駅前にて12人で50人程にチラシを配布。署名22筆。21日の国会行動に届けました。



## ●県社保協・消費税廃止県連絡会・憲法共同センター

20日・昼・千葉駅東口~**憲法違反の国葬反対!!**

時折雨と風が吹きつける中でのスタンディング。立ち止まって「(国会も開かず)勝手に決めるなんておかしい」と「反対」にシール投票する人やネット署名のQRコードをスマホで撮る若い男性も。11団体32人が参加。署名は38筆。

